

令和4年度自己評価結果公表シート

大開幼稚園

1.本園の教育目標

- ☆ 健康で安全な暮らしのできる子ども
- ☆ 自分のことは自分でできる子ども
- ☆ 友達と仲良くできる子ども
- ☆ 自分から進んで取り組み、工夫しながら遊べる子ども
- ☆ 心情豊かな子ども

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的目標や計画

- ・新しい生活様式にあった行事の取り組みを計画し、実践する。
- ・特別支援教育を通して、園全体の幼児理解を充実する。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
(1) コロナ禍での、園行事を工夫し、実践することができたか。	<ul style="list-style-type: none">・4月の保育参観は、密を避けるため運動場で全園児が異年齢で交流して遊ぶ姿を保護者に見てもらうことができた。・夏祭りはコロナ対策と熱中症対策に配慮し、PTAや地域の方の協力を得て、全園児が運動場で巡行を行い、年長児のみ町内に打ち込みに出るという形で行うことができた。・お別れ園外保育は屋内での密を避けるためキッズプラザ大阪から大阪城へ行き先を変更するなどの工夫をしながら、公共交通機関を使った園外保育にも出かけることができた。・コロナ禍で3年間を過ごした5歳児の保護者には、運動会・保育修了式での参加人数制限をなしにして行うことができた。
(2) 教職員間で共有しながら、幼児理解を深めることができたか。	<ul style="list-style-type: none">・特別支援教育相談事業や地域の療育施設から参観の際、個別の指導計画をもとに話し合ったり、相談員や施設の先生から教えていただいたりして、支援の仕方を共通理解した。・支援の必要な子どもだけでなく、全園児を全教職員が共通理解し、同じ方向に向かって、対応していることは子どもの成長につながった。
(3) 保護者や地域の施設と連携し、子どもの成長をともに喜び合うことができたか。	<ul style="list-style-type: none">・毎日の降園時に、保護者に子どもの様子を細やかに伝えることで、子どもの成長を共有した。・支援の必要な子どもについては定期的に保護者と話し合いの機会をもつことで、互いに共通理解し、また、教職員間でも情報を共有した。・療育施設の先生と話し合うことで、同じ温度で子どもたちの保育に関わってもらったありがたさを感じることができた。また、定期的に幼稚園に来てもらったり、送迎のある療育施設では、幼稚園での様子を知ってもらうことで子どもへの関わり方が共有できた。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	<ul style="list-style-type: none">・行事を中止にすることなく、在り方を模索しながら実現したいという教職員の思いが保護者にも伝わり、音楽鑑賞会では現地に迎えに来てもらったり、親子園外保育も午前中解散にするなど、保護者の理解や協力を得ながら実践することができた。子どもたちもいろいろな経験ができ、保護者にも喜んでもらうことができた。・新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインを作り、保護者と共有した。・全教職員が共通理解して全園児と関わることで、子どもの成長につながり、成長を喜び合えた。
----	---

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園生活の充実	・新しい生活様式の中で、幼稚園生活の充実に取り組む。
特別支援	・引き続き、子ども理解と支援の方法を共有し、子どもの成長につなげる。

6.学校関係者の評価

長引くコロナ禍の中、行事を中止にすることなく、行事の内容や参加の仕方を工夫したり、保護者の理解や協力を得ながら、子どもたちがいろいろな経験をすることができたことや、コロナ禍で3年間を過ごした5歳児の保護者には運動会や保育修了式の参加人数を制限することなく行うことができたことなど評価してもらえた。

7.財務状況

公認会計士による監査にて、適正に運営されていると認められている。